西宮市勤労福祉審議会 令和5年度 第2回 会議録概要

日 時: 令和5年10月12日(木)午後2時00分~午後3時30分

場 所: 西宮市立勤労会館 3階 第2会議室

出席委員: 学識経験者 ◎大津谷 美由紀 石井 恭子

志甫 啓 清水 久子

立花 吉博 元辻 昌典 ◎会長

勤労者代表 〇和田 正次 黒木 冨美子

中野 克哉 西 柚実

牧野 恭子 ○副会長

欠席委員: 安宅 正博

傍聴者: なし

事務局: 産業文化局長 長谷川 賢司

 産業部長
 田中 義弘

 労政課長
 木村 國彦

1. 産業文化局長より挨拶

2. 議事

(1)(報告事項)労政課事業概要について 【事務局より説明】

委員より質疑、意見なし

(2)(審議事項)働きやすいまちづくりプラン(後期案)について 【事務局より説明】

以下、質疑応答

【委員の質問や事務局の回答】

Q:重点指標と取組内容の関連性が薄い。 基本施策の目標達成のためにどの取り組みを行うということを強調してはどうか。

A:基本施策の内容で数値化が難しいものが多く、数値化が可能なものを重点指標として絞って記載している。

Q:重点指標の目標が達成できそうなものを設定しているが、例えば5年前から取り組みを 行いもうすぐ達成できそうというような見せ方を検討しても良いかと思う。

A:表示の仕方など検討を進めたい。

Q:基本理念は前期計画を踏襲しているが、LGBTQについて考えると「女性や若者、中 高年齢者、障害者等」という部分に違和感がある。

A: 意味が変わらなければ、基本理念を引き継ぐ形だが、検討したい。

Q:現状とそれによる問題、その対応するプランのイメージがわきにくい。

A:現状の内容に対応する施策が書いているページを記載するよう検討をする。

Q:育児休暇を取ると周りの人に負担がかかるので、プランにそういった保障を記載すれば 育児休暇を取りやすくなるのではないか。

A:市が単独で実施するのは難しいが、国において職場改善助成金があるので、そういった 制度を事業者へ広報するよう努める。 Q:「寄り添った」という表現が上から言っているように見えるので、「ニーズに合った」等 の表現に変更することを検討してもよいのではないか。

A:国でもこういった言い方をしているので、ひらがなにする等検討をしたい。

【委員の意見】

- ・重点指標を数値化できるものに絞っている等の記載があった方がよい。
- ・用語の定義についても記載があるとわかりやすい。
- ・特に漏れなく網羅されていると思う。
- ・現状分析において西宮市と兵庫県、国の平均が比較できれば、西宮市の進んでいるところ、 遅れているところがわかれば読み取れることも多くなる。
- ・西宮市の広報はわかりにくいので、広報のやり方を考えてほしい。
- ・基本施策4について、一般的なことのみ記載されているだけなので、周知啓発を図るという程度になっている。兵庫県や西宮市の取り組みについても記載されていると良い。
- ・目次について、ページを開くまでどういった内容が書かれているかイメージしにくいのでキーワードとなる言葉が記載されているとよりわかりやすくなるかと思う。